学校番号	T1208

令和２年度　　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	現代高等保健体育改訂版（大修館出版）						
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康を保持増進するために、個人の行動選択や社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かそう。

・喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になるということを理解し、調和のとれた生活を実践しよう。

・交通事故を防止するため、車両の特性の理解、安全な運転など適切な行動、交通環境の整備などがかかわることを理解しよう。

・適切な応急手当を学び、実際の現場に遭遇した場合も迅速に行えるようになろう。

２ 学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力をつける。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート	レポート 定期考査	レポート 定期考査

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="4">前期</td><td rowspan="8">現代社会と健康</td><td>健康のすがた、とらえ方</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="4">a:健康のとらえ方、健康に悪影響な行動について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。
b:健康のとらえ方、健康に悪影響な行動について、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。
d:健康のとらえ方、健康に悪影響な行動について、言ったり書き出したりしている。</td><td rowspan="4">受講態度の観察
定期考査
レポート</td></tr>
<tr><td>生活習慣病とその予防</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>喫煙･飲酒・薬物乱用と健康</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>現代の感染症と予防</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">後期</td><td>交通事故の現状と要因</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="4">a:交通事故の現状、応急手当の正しい方法について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。
b:交通事故の現状、応急手当の正しい方法について、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。
c:交通事故の現状、応急手当の正しい方法について、クラスメイトと協力し、実践を行っている。
d:交通事故の現状、応急手当の正しい方法について、言ったり書き出したりしている。</td><td rowspan="4">受講態度の観察
定期考査
レポート</td></tr>
<tr><td>応急手当の意義とその基本</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>心肺蘇生法</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断
c：運動の技能　d：知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。